

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 二一七
廣告料 一行十四字 一月五拾錢
月刊(日曜、祭日)休刊

水道栓に注意書

違反したものは處罰する

平町の思ひつき

平町の水道は水不足を告げているため去る八日以來好間村貯水池附近にポンプを据えつけ湧水を揚げて補給してゐる状態であるが、之がため平町役場では共用栓に注意書の板を吊し注意事項に違反したものは三月以下の内給水停止若くは五圓以下の過料を徴収する事となり、十三日この旨共用栓管理者、區長、衛生區長に通知する事になつた水栓につける注意書は左の如くである。

注意

- 一、給水を濫用し(濫用とは道路又は庭園等に撒水する事)又は他に分與若くは許可なくして販賣したるとき
- 一、共用栓附近に於て洗濯米精ぎ其他汲水の妨害となるべき所業をなしたるとき
- 一、鍵錠札を貸借し又は不正の鍵錠札を使用したるとき
- 一、當該吏員の制止を拒み又は職務執行を妨害したるとき
- 一、許可なくして水栓より送水器具を引用し又は水槽を設け其以下の導水装置をなしたるとき
- 一、指定水栓以外の共用栓を使用せしむるとき
- 一、鑑札かぎを携帶せず給水を使用したるとき

新舞子撮影

東京日日新聞社では十三日午前八時半から活動寫眞撮影技手六名を石城郡大浦村新舞子に派し附近の風景を活動寫眞におさめる事になつた。

新舞子の遊覧船

石城郡新舞子古港鈴木與平氏は附近國道で南進して來た双葉郡遊覧船三隻(五十六人乗り、三廣野村丸通商店の貨物自動車十人乗り、十五人乗り)を用意し衝突し吉田氏は顔面に重傷を負ふた。

石城徴兵検査成績

背の低いものが増えた

甲種合格者は多かつたが トラホーム、花柳病患者も多い

石城郡内の徴兵検査は十二日午、本年の壯丁は又非常に背の低く、背の低いものが多く五尺以下のもので、前中で終了したが各村の壯丁人員並に甲種合格者左の如くトラホーム患者は重症二十四名、中五十七名増加してゐる、各町村症八十六名、輕症百五十七名で甲種合格者は左の如く壯丁總數合計二百六十七名、昨年度より六十名の増加である、花柳病に罹つてゐたものは江名町四名を、筆頭に内郷三名等合計二十二名、昨年度より六名増加してゐる。

天満宮祭典

懸賞募集

平町新屋町天満宮祭典は十九日二十日兩日執行される筈であるが今年境内にポンボリを点燈する事としてその表に貼る繪は第一、第二、第三各小學校児童より懸賞で募集する事になつた。

吉田醫師

自動車に衝突

石城郡四倉驛前吉田醫院主吉田正氏は十日午後一時頃オートバイで往診の途中四倉町四倉銀行附近國道で南進して來た双葉郡廣野村丸通商店の貨物自動車に幹部會を開いて平署に値下げせぬ旨解答する事になつた。

署長が幹旋したが 理髮科は値下げせぬ

十三日幹部會で協議

平警察署長荒井市太郎氏は過般管内理髮業者に對し値下げ方針の幹旋をなした事既報の如くであるが、十日幹部が協議の結果値下げはせぬ事として十三日正式に幹部會を開いて平署に値下げせぬ旨解答する事になつた。

武徳殿落成式

石城郡武徳殿落成式は二十日郡内郷村武徳殿落成式は二十日執行するが當日は剣道の大試合を舉行する事になつた。

石城の小學兒童が 夏期中炭礦稼が

脅威されてゐる生活状態 兒童の頭にしみ込む

常磐炭坑地帯の町村民は不景氣でも家計を助けたいといふもの余波で炭界が不況なので生活が續出したが、炭坑側では法令を極度に脅威されつゝあるが、幼年工の使用を禁せられては、つゝかこの苦しみが小學兒童の頭にしみ込み、仕方なく平職業紹介所につかひ、炭坑に來るものが増加したの梅の湯、大床、草野、四倉町田方を願ひ出た。

釜屋商店で 銅板寄附

平町五丁目釜屋商店では四倉町の食券が三十五錢分に相當する如來寺の庫裡建築工事の屋根をの他に使用する銅板三百五十圓分を寄附した。

練習生來平

本縣警察練習所生三十二名は十二日午後六時中村所長引率の下に來平、平町に一泊十三日午前七時から平町消防組施設を見學し直に湯歸福の等。

乗合自動車 平署で禁止

七月も半ばとなり學校もそろそろ暑中休暇となり四倉、小名濱等を始め磐城の海岸は不景氣と等をはひながら季節的の活氣を呈して來た、四倉海岸には例年の通り池田、愛川、初音、吉田、大平、竹松、米好、金木、新玉等が出張脱衣場並に料理店を十等から續々經營する事になつた、而して今年には不景氣緊縮時代であるので從來の營業方針をかへねばならぬと言ふわけで、右營業者等が協議の結果四倉海岸浴場脱衣場組合を組織し組合が物價を協定し共通の食券を發行することに成つた、これを(五)との間が不和で遂には自殺等が起つた事もあつたが二日六ヶの家百三十圓余を踏到し、梅の湯、大床、草野、四倉町田方を願ひ出た。

湯本町で 水道促進陳情

石城郡湯本町では十四日水道促進陳情のため小泉町長以下出縣する事になつた。

印刷物は 加納活版所へ

加納活版所へ印刷物は、右について平署係員は語る。

乗合自動車 平署で禁止

自動車營業者が特殊のことを行ふ場合には警察の許可を必要とする、乗車券に食券を添へることにして何等届出はなかつても許可されて居ないから右の如き行為は出來ない新に届出たことと許可されるかどうかが判らぬ。

店子夜逃げ

家主青くなる、

原町通信

相馬野馬追大祭 先陣を争ふ騎馬武者

待に待つた相馬野馬大祭はいよ
十一日からはじまつたが、
降雨やまず幾分人出を減らした
が、午前八時頃から水戸、平町
方面から見物人の續々入り込み
驛前通りは全く人で埋められた
煙花を合圖に人々は祭場へ向ひ
町内はごつた返す混雑であつた
この日の宵乗祭で午前八時頃ま
でに小高、太田、中村の三妙見
社では戦備を整へ騎武者は神輿
を奉じ中村勢は國道を南進し鹿
島町にて晝食をなし、北郷軍と
合し總大將軍等は總勢を指揮
し高松の峻坂を越し原の町に着
し、神輿は山田醫院宅に安置し
騎馬武者は更に進軍し雲雀ヶ原
に出づれば、すでに小高、太田
の二郡は北進し陣地にあつて中
村軍を迎へた、午後三時神官の
淨めについて馬術に熟練せる軍
部の二三騎は馬場ならしを行ひ
次に小高、中之郷北郷、宇多郷
の順序で競馬敷香を行ひ先陣を
争ひ、優勝者は神札を授與され
午後五時頃戦場を引きあげ、小
高軍は町内に入り、太田軍は新
町から榮町を経て旭丁驛通りに
到り神輿を驛前に一時安置し、
更に三島神社境内に移し騎馬武
者は夕方歸營した。

段が安くて品價の良いもの、
又物によつては量の多いもの
を買ふ事をいふのであります
けれども一般には安物を買へ
ばそれでよいやうに考へられ
てゐるのは間違ひでありませ
ん昔から安物買ひの鐵失ひとい
ふ諺がありますが、これを戒
ふ山寺の尼 齋藤映縁
夕暮せまる山寺の
白き壁にもたれてる
若き尼さま淋しさう
ボトリ！風もないのに
白椿の花が落ちた
ふもとの村に灯がともる
はひよる冷き闇に
遠い人でも思ふてか
白衣の尼さま淋しさう
(歌) 罪 飯村 閑舟
すさぶ世を罪にかこちて落ち
てゆく人のすがたの憐れ悲し
も
罪の子をいたはるよしみ消え
もせば念々すれ人となりな
ん
さとしたる罪の子は泣くいち
らしき思ひはいやが高きつと
めぞ
つめたさに泣く罪なれば世を
呪ふ弱きがゆるる罪にあらざ
れ
あたゝかき諭しに罪の子等は
泣く偽りの非のさとりふかけ
に

讀者 (投書歓迎)
論壇 卅行以上五十行迄
買物上手といふのは必ずしも
安いものを買ふ人を指したも
のではありません、それは値

しかし分量の方は買ひ入れた
時調れば分る事でありませ
ん差を當て見るやうに習慣づ
けるがよいのであります、そし
て先づ値段に對する分量を知
つて置かねばなりません、つ
まり買物の上手とは右の三條
件がそろつてゐなければ本當
ではありませぬ、安い物を買
ふといふ事について日本人の
悪い考へ方として註文品が上
等既成品はいけなないといふ
事でありませぬ、これはむし
既成品の方が上等の場合が多
いのであります、何故かとい
ふと、たとへば洋服等でも大
量を安く仕入れられそれで同
型の洋服を澤山仕立てるとす
ると自然安くして上手に仕立
上げられるのであります、註
文品ははたはこんな風に、茲
斯うに勝手な註文をするため
に熟練した職工でも困る場合
が多いので、仕立てが劣るの
であります、西洋人は自分の
家で仕立てるか、既成品を求
めるので、日本人のやうな不
經濟は少いのであります。

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局
中野勇吉
平町新川町(郵便局裏)
電話一三三番

ラヂウム温灸器
胃腸病の必治法
二貫や三貫らくく肥る世界的健康法
福島縣平町五丁目二八
志賀齒科醫院
福島縣平町白銀町九
關口悦子
「温灸治療法」百三十頁の美本無代進呈

夏服
輕快で瀟洒な夏服
の季節となりました。
スマートな今年度の
新製品が豊富に
取揃ひました。
輕裝上衣 黒セル 1.20
カシミヤ 10.00
白直衣 1.60
白ツボン 2.60
平 ぶかや洋服店 電話203

生命保險界の王
世界的大會社
加奈陀サン生命保險會社
本社 英領加奈陀モントリヲノル市
平代理店 加藤 丈夫
湯本代理店 長岡 義守
契約高 五十億
資産 十一億
◎尤も特色あり、尤も有利なる保險契約

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科専門
病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番
平町田町(電話五二三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

鎮咳液
セキヤ草
祛痰
關內藥局
特約店
平町四丁目 電話四〇番

貸切自動車は
乗心持のよい
磐城タクシー
電話四五四番(平驛前)